

第70回優良公民館表彰について

文部科学省では、公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として表彰しております。この度、第70回優良公民館表彰について決定しましたので、お知らせします。

1. 表 彰 館 鹿部中央公民館 外 7 5 館

2. 表 彰 式

（日 時） 平成30年3月8日（木） 10時00分～15時00分

（場 所） 文部科学省第2講堂（東京千代田区霞が関3-2-2）

3. 選考の経過等

都道府県教育委員会から推薦のあった公民館や公民館と同等の社会教育活動を行う施設について、優良公民館審査委員会で審査の上、表彰館とそこから特に優れた活動を行った5館を「優秀館」として文部科学大臣が決定しました。

さらに、表彰式当日、「優秀館」5館の中から「最優秀館」1館を選定するために、会場でインターネットによる中継を行いながら5館が活動内容のプレゼンテーションを行い、インターネット視聴者・会場からの投票結果を踏まえた審査の上で、**那覇市若狭公民館** が「最優秀館」の栄誉に輝きました。

【最優秀館】

那覇市若狭公民館（沖縄県）

【優秀館】

鹿部中央公民館（北海道）

奥州市真城地区センター（岩手県）

鯖江市北中山公民館（福井県）

綾町公民館公民館（宮崎県）

第70回優良公民館表彰 表彰館一覧

No.	都道府県名	ふりがな 公 民 館 名	No.	都道府県名	ふりがな 公 民 館 名
1	北海道	しかべちゅうおうこうみんかん 鹿部中央公民館	39	静岡県	ふくろいしりつかさはらこうみんかん 袋井市立笠原公民館
2	北海道	くしろちようこうみんかん 釧路町公民館	40	静岡県	はままつしちゅうぶきようどうせんたー 浜松市中部協働センター
3	北海道	しらおいちようちゅうおうこうみんかん 白老町中央公民館	41	愛知県	がまごおりしかたはらこうみんかん 蒲都市形原公民館
4	青森県	はちのへしりつねじようこうみんかん 八戸市立根城公民館	42	愛知県	おわりあさひしずいまうこうみんかん 尾張旭市瑞鳳公民館
5	青森県	あおもりしおきだてしみんせんたー 青森市沖館市民センター	43	三重県	いせししようがいがくしゅうせんたー 伊勢市生涯学習センター
6	岩手県	ひらいずみちようこうみんかん 平泉町公民館	44	滋賀県	おおつしりつせたひがしこうみんかん 大津市立瀬田東公民館
7	岩手県	おうしゅうしんじようちくせんたー 奥州市真城地区センター	45	京都府	うじしおぐらこうみんかん 宇治市小倉公民館
8	岩手県	くじこくじしみんせんたー 久慈市小久慈市民センター	46	京都府	よさのちよりつかやちいきこうみんかん 与謝野町立加悦地域公民館
9	宮城県	ひがしまつしましあかいしみんせんたー 東松島市赤井市民センター	47	大阪府	かわちながのしりつあまみこうみんかん 河内長野市立天見公民館
10	秋田県	せんぼくしたざわこうみんかん 仙北市田沢湖公民館	48	大阪府	おおさかしりつそうごうしやうがいがくしゅうせんたー 大阪市立総合生涯学習センター
11	秋田県	かみこあにむらこうみんかん 上小阿仁村公民館	49	兵庫県	かさいしなんぶこうみんかん 加西市南部公民館
12	山形県	たかはたまち にいじゅくちくこうみんかん 高島町二井宿地区公民館	50	奈良県	ならししやうがいがくしゅうせんたー 奈良市生涯学習センター
13	山形県	むらやまし にしごうちいきしみんせんたー 村山市西郷地域市民センター	51	鳥取県	とっとりしりつひおきちくこうみんかん 鳥取市立日置地区公民館
14	福島県	こおりやましりつなかつこうみんかん 郡山市立中田公民館	52	鳥取県	いわみちようりつうらどめちくこうみんかん 岩美町立浦富地区公民館
15	福島県	きたかたしまつやまこうみんかん 喜多方市松山公民館	53	島根県	まつえしんじこうみんかん 松江市宍道公民館
16	福島県	ふくしましわかだいがくしゅうせんたー 福島市三河台学習センター	54	島根県	おおなんちようふせこうみんかん 邑南町布施公民館
17	茨城県	かしましりつみかさこうみんかん 鹿嶋市立三笠公民館	55	岡山県	つやまいんのしやうこうみんかん 津山市院庄公民館
18	栃木県	あしかがしやばがわこうみんかん 足利市矢場川公民館	56	岡山県	あかいわしりつちゅうおうこうみんかん 赤磐市立中央公民館
19	群馬県	しぶかわしこもちこうみんかん 渋川市子持公民館	57	広島県	ふちゅうしきりふこうみんかん 府中市栗生公民館
20	群馬県	たかさきしひがしこうみんかん 高崎市東公民館	58	広島県	かいだこうみんかん 海田公民館
21	埼玉県	ぎやうだいちいきぶんかせんたー 行田市地域文化センター	59	広島県	ひがしひろしましわしやうがいがくしゅうせんたー 東広島市志和生涯学習センター
22	埼玉県	ちちぶしあらかわこうみんかん 秩父市荒川公民館	60	山口県	ほうふしかほこうみんかん 防府市華浦公民館
23	千葉県	ちやうせいむらちゅうおうこうみんかん 長生村中央公民館	61	山口県	たぶせちやうまりふこうみんかん 田布施町麻里府公民館
24	千葉県	いははしりつあねさきこうみんかん 市原市立姉崎公民館	62	山口県	やまぐちしきやまちいきこうりゅうせんたー 山口市佐山地域交流センター
25	千葉県	ながれやまししやうがいがくしゅうせんたー(ながれやまえるず) 流山市生涯学習センター(流山エルズ)	63	徳島県	あなんしりつぽきこうみんかん 阿南市立椿公民館
26	神奈川県	ひらつかしりつつちやこうみんかん 平塚市立土屋公民館	64	徳島県	なるとしばんどうこうみんかん 鳴門市板東公民館
27	神奈川県	あつぎしりつむつあいみなみこうみんかん 厚木市立睦合南公民館	65	香川県	みとよしとよなかちやうこうみんかん 三豊市豊中町公民館
28	新潟県	たがみまちこうみんかん 田上町公民館	66	愛媛県	やわたはましりつおおしまちくこうみんかん 八幡浜市立大島地区公民館
29	富山県	くろべしりつおりたてこうみんかん 黒部市立下立公民館	67	愛媛県	にいはましりつくちやあときねんこうみんかん 新居浜市立口屋跡記念公民館
30	富山県	となみしりつせんだんやまこうみんかん 砺波市立栴檀山公民館	68	福岡県	おかがきまちちゅうおうこうみんかん 岡垣町中央公民館
31	石川県	つばたまちかりやすこうみんかん 津幡町刈安公民館	69	福岡県	おおむたしよしのちくこうみんかん 大牟田市吉野地区公民館
32	石川県	すずしりつわかやまこうみんかん 珠洲市立若山公民館	70	長崎県	まつうらしりつかみしきこうみんかん 松浦市立上志佐公民館
33	福井県	さばえしきたなかやまこうみんかん 鯖江市北中山公民館	71	長崎県	しまばらしりつはくさんこうみんかん 島原市立白山公民館
34	福井県	ふくいしきだこうみんかん 福井市木田公民館	72	宮崎県	あやちようこうみんかん 綾町公民館
35	長野県	いなしたかとおまちこうみんかん 伊那市高遠町公民館	73	鹿児島県	かごしましよしのこうみんかん 鹿児島市吉野公民館
36	長野県	しおじりしよだこうみんかん 塩尻市吉田公民館	74	鹿児島県	よろんちやうちゅうおうこうみんかん 与論町中央公民館
37	岐阜県	ぐじやうしめいほうちくこうみんかん 郡上市明宝地区公民館	75	鹿児島県	ひおきしたかやまちくこうみんかん 日置市高山地区公民館
38	静岡県	ふくろいしりつこうなんこうみんかん 袋井市立高南公民館	76	沖縄県	なはしわかさこうみんかん 那覇市若狭公民館



…公民館



…公民館と同等の施設



…最優秀館



…優秀館

No.	都道府県名	(ふりがな) 公 民 館 名	公民館の概要
1	北海道	しかべちゅうおうこうみんかん 鹿部中央公民館	本館は昭和52年1月にオープンし、町内唯一の社会教育施設として、図書館、博物館、生涯学習センター等の機能を併せ持ち、公民館事業以外にも図書館事業、文化・芸術事業、子育て支援事業等、幅広い内容の取組を展開している公民館である。 公民館事業としては、乳幼児から少年、成人、高齢者まで、各世代別に通年の学級・講座を開設し、町民の学習・交流の場として定着。公民館の対象人数が4,052人と人口減少の影響を受けながらも、町の基幹産業が漁業という特色を生かし、海産物を活用した特産品の開発をサポートするなど、学校や各企業・団体等と連携した多様な事業を展開し、年間総来館者数は2万人を超えている。また、平成28年度には、全国公民館研究集会北海道大会兼北海道公民館大会を開催し、地域の活性化に関する実績を広く道内外に発信するなど、北海道の公民館活動の充実に向け貢献し、大きな成果を上げた。
2	北海道	くしろちょうこうみんかん 釧路町公民館	公民館の建物がなくなった昭和62年以降、「青空公民館」「移動公民館」としての活動にとどまっていたが、住民側から「学びの場の中核である公民館」が必要であるとの多くの声上がり、平成24年度に地域コミュニティセンターを公民館に転換し、地域の交流や主体的な学びへの支援を図る社会教育拠点として再スタートした。 現在では、多様化・高度化する学習ニーズに対応する学習機会の確保や、情報の積極的な提供等、町民の学習の場として機能している。特に、地域で陶芸を学ぶ文化団体の学習成果を、学校における子供たちの学習活動につなぐコーディネート活動として「学校陶芸教室」を実施し、子供たちに地域の大人と関わりながら、より専門的な知識や技術を学ぶことができる機会を提供するなど、地域の活性化に寄与している。
3	北海道	しらおいちょうちゅうおうこうみんかん 白老町中央公民館	白老町には、北の防人として蝦夷地を防備した仙台藩白老陣屋跡や、アイヌ民族が伝承している古式舞踊(国指定重要無形民俗文化財)など、誇るべき歴史や文化が残されている。町においては、昭和55年9月に開館した白老町中央公民館が拠点施設となり、それらの文化的な資源を活用した住民の学習機会の充実に努めてきた。 2020年の民族共生象徴空間の開設に向けて実施している「地域学講座開講事業」は、郷土を学び、郷土に親しむ人材を育成する上で大きな成果を残す取組である。今後予想される多くの来訪者に対して、町の良さを伝えるガイドの養成を見据え、学習資料の整備や関係団体のネットワーク化を進める取組を進めている。
4	青 森 県	はちのへしりつねじょうこうみんかん 八戸市立根城公民館	根城公民館は「公民館活動教室」「女性学級」「高齢者教室」等、地域住民のニーズに応じた講座を開設している。中でも40歳未満の未婚男女を対象とする「青年学級」は昭和52年度の開設以来、平成28年度で40年目を数え、受講生数は延べ1,800名を数える特色ある講座である。平成25年度からは、受講生が話し合って内容を決める自主講座も開始し、受講生自らが企画会議、講師との交渉等、経験を積みながら運営をしている。こうした中で育まれた実践力が、青年層の地域活動貢献へとつながることが大いに期待される。 その他にも、小学生親子対象の家庭教育講座や地元高校と連携した事業等、小中高校と連携することで、地域の教育力の向上と地域づくり支援にも大きく貢献している公民館である。
5	青 森 県	あおもりしおきだてしみんせんたー 青森市沖館市民センター	沖館市民センターは、市民センター条例によって設置されている公民館と同等の施設である。指定管理者制度を導入しているが、公民館と変わらぬ社会教育事業を展開している。事業内容は、趣味や教養だけでなく、地域課題や多様な市民ニーズにバランス良く対応した講座を実施している。また、全講座でアンケートの実施と分析を行い、常に成果と課題を把握している。 特に地域防災については、平成27年度はワークショップを、平成28年度は当センターが防災拠点となることを想定した「沖館地域合同防災訓練」を実施するなど、地域住民の防災意識高揚と知識の習得に大きく貢献した。これらの取組は、生涯学習の拠点として地域住民の学びに大きく貢献している。
6	岩 手 県	ひらいずみちょうこうみんかん 平泉町公民館	平泉町は、町内に世界遺産の構成資産を数多く持ち、歴史と文化を大切に「やすらぎと文化のおりなす千年のまちづくり」を町の将来像として掲げ、その実現に向けてまちづくりを推進している。平泉町公民館においても歴史と文化の豊かさを生かしながら、町民が生涯にわたって自主的・自発的に学習活動を継続していけることを目指して、各種講座や教室の開設に取り組んでいる。町の中央公民館として、学校や地域住民との連携を密にして、世代や地域を越えて多くの人が交流できる活動を企画し、地域住民の輪が広がるよう取り組みを進めている。世界遺産の町平泉の魅力と地域のすばらしさを全世代に感じ取れるような「歴史教室」や平泉の文化遺産を巡る「ウォーキング教室」等の事業を企画し、町民の郷土に対する誇りと愛着を高めている。
7	岩 手 県	おうしゅうしんじょうちくせんたー 奥州市真城地区センター	奥州市の真城地区振興会は、平成16年3月に策定した「真城地区コミュニティ計画」を見直し、第二次計画の策定に取り組んだ。人口が減少し、高齢化が進む中、若い世代をいかに参画させ、育成していくかが今後の真城地区を左右する大きなポイントであると考え、若い世代が自由な発想で活動できるように予算を確保し、支援している。若い世代による「ちーむやなぎ」が発足し、地域の方々の意識高揚に向けて、横断幕やロゴマーク作成の提案をし、その具現化に向け地区センターが支援した。横断幕は地区センター外壁に設置され、ロゴマークは地区のシンボルとなっている。また、地区民参加のビアガーデン、なべフェスティバル、映画上映会を開催するなど地域住民の協力を得ながら、精力的に活動を展開している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公 民 館 名	公民館の概要
8	岩 手 県	くじこくじしんせんたー 久慈市小久慈市民センター	久慈市小久慈町は、人口3,900人、世帯数1,747、豊かな自然が広がり、近年、住宅地として開発が進む地域である。小久慈市民センターは、地域住民が学び、交流する貴重な場であるとともに、地域づくり活動の拠点としても大きな役割を果たしている。市民センター主催事業として多くの学習機会を提供する一方、地域の関係団体との連携した活動も多く、参加者獲得や交流を広げるための事業運営の工夫を行っている。小久慈地区まちづくり協議会との共催による、小久慈地区敬老会、小久慈町民運動会、小久慈町民文化祭は、市民センターの三大事業に位置付けられ、地域住民の交流や学習活動の成果を披露する場となっている。小久慈まちづくり協議会、久慈市地域づくり振興課との共催により、住民が主体となって地域づくりを行う「小久慈地区ふるさと未来づくり事業」も活発に展開されている。
9	宮 城 県	ひがしまつしましあかいしんせんたー 東松島市赤井市民センター	本市民センターは、赤井地区自治協議会が管理運営を担う市民センターである。 東日本大震災で当地区は大きな被害を受けたが、被災後すぐに、人口流出や地域コミュニティの再構築といった課題解決に向け、当市民センターを拠点に、地元の小学生から中学生までの子供たちが「ぼくとわたしの復興計画」を立案した。そしてその計画を基に「あかいっこカンパニー」を設立し、子供からお年寄りまでが一緒に笑顔で過ごせる場を作りたいという思いを持って、地域住民・大学・NPOと連携して「子ども朝市『赤井の野菜をたべてけらいん市』」という活動を展開した。これらの活動によって、地域住民にとって未来に向かうかけがえのない希望が生まれた。 現在は高校生・大学生も加わって活動を継続しており、更なる地域の活性化を目指し、協働教育やコミュニティスクールの推進等、新たな取組にも挑戦中である。
10	秋 田 県	せんぼくしたざわこうみんかん 仙北市田沢湖公民館	自主学習グループの活動支援を中心に、伝統芸能の後継者育成、県内有数の観光地を生かしたインバウンド対策としての外国語教室等、地域の学習ニーズに応じた多様な公民館事業を展開している。夏には盆踊り大会、秋には地区文化祭、冬には公民館まつりを開催し、地区内の学校・園、社会教育団体から作品展示や実演発表等の協力を得て、世代を超えた老若男女の交流を図りながら地域活性化に取り組んでいる。 仙北市は、産業発展を主体とした地方創生にマルチ・コブターを利用する「ドローン特区」に指定され、近年注目を集めている。田沢湖公民館は、その実演の場を提供しての周知・広報活動や、イベントの様子をドローンで撮影して発信する活動に協力している。
11	秋 田 県	かみこあにむらこうみんかん 上小阿仁村公民館	少子高齢化、人口減少という村としての地域課題を抱えている中で、持続可能な地域の在り方を考えた学習活動を展開している。特に、高齢者が多いことをプラスに捉え、「かみこあに大学」を開催し、高齢者が、村内の保育園児や小・中学生と交流することで世代間の交流を促進している。また、地域の伝統芸能の継承のために、異なる地域の住民が交流したり、世代間の交流を促進したりすることに力点を置いている。村唯一の公民館が核となって、同じく村唯一の保育所、小・中学校を強く結び付け、知の循環を図りながら生涯学習を推進することに寄与するとともに、子供たちが地域の将来を担う人材であることを意識できるような事業展開に努めている。
12	山 形 県	たかはたまち にいじゅくちこうみんかん 高島町二井宿地区公民館	二井宿地区は、宮城県境に隣接する山々に囲まれ、希少な動植物に恵まれた自然豊かな地域である。また、観音岩をはじめとした多くの史跡等が存在している。公民館では、「二井宿地区 地区づくり計画」に基づき、これらの里山環境や地域資源等を体験事業により語り継ぎ、整備・保全していくこと、そして後世に豊かな地域資源をつないでいく活動に数多く取り組んでいる。さらに、当地区は少子・高齢化が著しく進む中で、小学生から高齢者まで関わる多世代交流事業を積極的に展開している。特に、公民館を中心とした各種団体等に協力いただいて諸活動への参加を促し、地区民総参加によるスポーツ振興事業や地区民講師による様々な活動の展開によって、人と人をつなぐ場を創出している。
13	山 形 県	むらやまし にしごうちいきしんせんたー 村山市西郷地域市民センター	西郷地域市民センターは、平成21年度に、地域初の「西郷地域づくり計画」を策定し、「人を育て笑顔あふれる郷づくり」を地域の目標に掲げ地域づくりを行ってきた。平成15年度に、地域住民組織である「西郷地域元気な街づくり協議会」が組織され、地域計画に基づく数々の講座やイベント等を企画・実践している。中でも特筆すべきは、約半世紀にわたって継続して実施されてきている「スポーツ・レクリエーション行事による地域活性化」であり、これは地域づくりにも生かされている。地域づくりにおいて基本である「団結力」や「協調性」も、これらスポーツ行事等を通して培われてきたといえる。この取組は、平成25年4月に公民館から市民センターに移行した後も、脈々と受け継がれている。
14	福 島 県	こおりやましりつなかつこうみんかん 郡山市立中田公民館	中田公民館は基本理念を「郷土愛を育む心豊かな人づくり・まちづくり」とし、過疎化や伝統文化の衰退、地域の活力低下等の地域課題を解決すべく様々な取組を推進している。伝統芸能・工芸の復活と継承を目的とした「柳橋歌舞伎伝承講座」及び「海老根手漉き和紙伝承講座」を計画的に実施することで、人材の育成と技術の継承に努めた結果、「海老根手漉き和紙」は、地域内で子供から大人までの体験製作の機会が増え、和紙の灯籠を田んぼや農道に設置し、幻想的な空間を提供するイベント事業「秋蛩」として発展した。また、「柳橋歌舞伎」は講座受講生が保存会を立ち上げ定期的な講演を実施するなど、地域住民の自主的な取組として発展した。地域住民と連携しながら「地域振興」に取り組む姿勢とその成果は、他の公民館の模範となっている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公 民 館 名	公民館の概要
15	福 島 県	きたかたしまつやまこうみんかん 喜多方市松山公民館	地域の公民館として、人づくり、まちづくりを課題に活動を展開している。独自に公民館運営推進協議会を設置し、公民館の運営ビジョンと行動目標を明確にして、PDCAサイクルによる事業評価、事業改善を行いながら、各種講座、教室を実施している。特に、「おらがまちの生涯学習推進特別事業」では、6年間にわたり「ふるさと再発見！わがまち探検まちなかてくてくウォーク」と称して、行政区ごとに歴史・文化その特色を調査し、小冊子にまとめた。平成28年度には集大成として、それらの再調査を行い「小史 わがまち松山」を発刊し、好評を得た。また、地区の小学校と連携し、学校の要請に応じて地域の人材を活用して講師を派遣するなど学校支援のコーディネーター役を担っている。
16	福 島 県	ふくしましみかわだいがくしゅうせんたー 福島市三河台学習センター	時代の変化や地域の各年代層のニーズを的確に把握しながら、各ライフステージに応じた講座を開設している。また、地域課題の解決に向けた取組としての市民公開講座や市民学校を実施している。これらの講座の中でも特に、「みんなで歩こうみかわだい」は地区体育協会、三河台歴史愛好会と連携した取組で、地域の歴史、文化を知り、理解を深め、地域への愛着を育んでいる。また、地域における人のつながりや連帯感、支え合いの意識づくりを進めようと、学習センターが協働の拠点となり、地域をつなげていくコーディネーターとしての役割を果たしている。学習センターの運営に当たっては、運営審議会を年6回開催し、活動内容にPDCAサイクルを機能させるなど、適切な運営を行っている。
17	茨 城 県	かしましりつみかさこうみんかん 鹿嶋市立三笠公民館	当該公民館の活動は、昭和52年4月同市立三笠小学校開校に伴い、地域住民からの要望を受け、旧中央公民館を地域活動の拠点として開始する。平成16年同市立三笠公民館が設置され、平成19年に同小学校内へ移転し、現在に至る。地域住民による三笠地区まちづくり委員会が企画・運営し、住民主体の公民館運営を展開している。その特色として、 ①子供、親、高齢者との交流を図る「たまり場事業」において成果をあげている。 ②学校内に設置されているため、子供たちの遊びの見守り、下校指導パトロール、昔の遊びや戦争体験講師派遣等、学校との連携が活発である。 ③災害発生時の防災体制を整え、安全なまちづくりの推進を図っている。 など、学校と地域が連携した公民館として優れた活動を実践している。
18	栃 木 県	あしかがしやばがわこうみんかん 足利市矢場川公民館	栃木県南西部に位置する矢場川公民館は、緑豊かな田園地域にあり、公民館、小学校、地域住民とが一体となった特色ある事業が行われている。その一つである「やばっこ学びの巣」は、周辺環境を活用した様々な趣向をこらした体験活動をとおして、子供たちが楽しいと感じるだけでなく、指導する大人たちも学び合える機会となっている。また、公民館職員と地域住民が、自主的に企画・運営に携わり、子供たちに体験の場を提供することで、地域の活性化、地域の絆(きずな)を深める役割を果たしている。この「やばっこ学びの巣」で学んだ子供たちが成長した後も、新たにスタッフとして参加し、活動を支える原動力となっている。このように、公民館を中心とした活動によって郷土愛にあふれ、子供の教育や見守りに熱意あふれる地域となっている。
19	群 馬 県	しぶかわしこもちこうみんかん 渋川市子持公民館	子持公民館は、市民が生涯学習活動で培った知識や技術等を地域に還元するとともに、住民相互の親睦を図りながら元気で心豊かな地域を目指すため、わくわく学び塾を実施している。本事業は、公民館のコーディネートのもと、講師と受講生が協力し自主的に運営を行っている。また、「学校週5日制子ども受け入れ事業」では、子育て支援のため、週末に子供対象の体験講座を毎年テーマを変えて実施している。今年度は、将棋・折り紙・和筆等の講座を58回開催した。講師は、地元の住民が務め、「学び」を生かす場ともなっている。また、講座を通して世代間交流を深めている。子持公民館では、市民の生涯学習活動が「地域づくり」を支える「人づくり」に発展することを願い、市民と行政とが一体となった「地域の教育力を高める生涯学習活動」を推進している。
20	群 馬 県	たかさきしひがしこうみんかん 高崎市東公民館	高崎市東公民館は、平成23年頃から再開発により高層マンションが建設され、比較的若い世代の核家族が多く、児童数が増加している地域にあり、子供の放課後や長期休暇中の活動場所の確保が課題となっている。 そこで、子供の居場所づくりを目的として、夏休み期間に小学生を対象として、宿題補助の講座のみでなく、職業見学や運動教室等の講座を実施したり、放課後や週末にも様々な子供を対象とした事業を実施したりしている。平成28年度には地区の約半数の児童が夏休み期間中の講座に参加し、成果を上げている。 また、それらの事業に学生や地元企業、地域住民が講師やボランティアとして積極的に関わることで、地域住民同士が世代を超えて交流を図る拠点となり、さらに、地域の祭りや育成会等の活動が再開するなど地域の活性化も進んでいる。
21	埼 玉 県	ぎょうだしちいきぶんかせんたー 行田市地域文化センター	地域文化センターは、太田東小学校区の地域住民を主な利用対象として、平成3年4月に開館した。この地域は行田市の最東部に位置し、豊かな田園地帯を形成している。事業の推進については、公民館を通して、明るく豊かな人づくり、まちづくりを館の活動目標として取り組んでおり、①地域コミュニティの形成、②地域活力の向上、③健康的な地域の構築、④魅力を感じる住みよい地域の創造、の四つを活動方針として掲げている。特色のある事業として、伝統文化を継承し将来を担う人材の育成を目的に、真名板地区にある古刹「薬師様」に伝わる薬師太鼓を通して、ふるさと講座等を展開している。これにより、子供たちの郷土愛を育むための実践を行っている。また、学校、家庭、地域による循環型の人づくり公民館活動として、親同士、子供同士、親と子といった様々なふれあいの場を提供したり、じゃがいも掘り等の体験活動をしたりして、地域との連携を図っている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公 民 館 名	公民館の概要
22	埼 玉 県	ちちぶしあらかわこうみんかん 秩父市荒川公民館	荒川公民館は、住民の自主的な活動を促すための「生涯学習室」等を有する施設として、平成15年2月に新築された。秩父市でもそば処として有名な荒川地区にある公民館である。その地域特性を生かし、定期的に「そば打ち教室」や「ふるさとの味伝承料理教室」を開催し、秩父の伝統文化を象徴する荒川地域の食文化を公民館講座で継承していく取組を行っている。また、公民館活動に普段あまり参加しない住民を対象として、広報のみならず、住民同士の誘い合いを促し、多くの仲間とともに「仲間と健康づくり講座」を行うことで、地域の活動拠点である公民館を通じてコミュニティーの輪を広げている。
23	千 葉 県	ちようせいむらちゅうおうこうみんかん 長生村中央公民館	昭和47年の開館以来、長生村の「地域交流」「人材育成」の拠点として活動してきた。現在、約1万5千人の住民を対象に、多様な学習機会を提供している。また、トイレを洋式に改修したり、講堂の床を体への負担が軽減するコルクフロアにしたりするなど、多様な利用者の参加促進のための学習環境の整備にも積極的に取り組んでいる。長生村は高齢化率が30%を超え、また、一人暮らしの高齢者も増加していることから、在宅の高齢者同士の交流、地域住民との定期的なふれあいが喫緊の課題となっている。そこで、高齢者の社会的孤立感の解消(引きこもりの防止)と健康保持を図ることを目的とした「シルバースクール」を年5回開催している。講座の形態は、講義1回、移動教室4回で、参加者が当番制で次の学習内容の企画検討を行っており、自分たちの興味のある内容となるため、毎回の参加者は多数となっている。
24	千 葉 県	いちはらしりつあねさきこうみんかん 市原市立姉崎公民館	姉崎公民館は、漁師町として栄えていた姉崎地区に、昭和28年に開館した。その後、昭和30年代に始まった京葉臨海工業地帯の造成に伴う我が国を代表する企業の進出により、多くの人口が流入するなど、開館当初とは大きな変革を遂げており、このような当地区の発展とともに歩んできた公民館である。近年、利用者の要望に沿って夜間土日祝日に講座を開催したり、託児サービスを実施したりするなど、約3万人の市民を対象に、より身近な公民館として存在感が増している。「はつらっカレッジ」は団塊の世代の定年退職が進む中、第二の生きがいとして協働を意識し、地域においてともに学び助け合うことを目標とした講座である。講座内容は、歴史散策、筋力トレーニング、ボランティア関連、人権、医療、防災等多岐にわたり、毎年、本講座の中からサークルが立ち上げられている。受講者が館外の活動に積極的に参加したことを契機とし、次年度に独立した講座が開催されるなど、年度を跨いだ成果を上げている。
25	千 葉 県	ながれやまししょういがくしゅうせんたー (ながれやまえるず) 流山市生涯学習センター (流山エルズ)	平成17年に千葉県流山青年の家が流山市に移譲され、平成18年4月に指定管理者制度の導入により「流山市生涯学習センター」として開館した。学級・講座数が161、登録団体・サークル数が6,300を数え、市民の誰もが自主的に学びたいときに学ぶことができる、地域の社会教育・生涯学習の拠点であり、青少年指導センター、教育研究企画室、市民活動推進センターやNPO法人が入る複合施設でもある。「夏休み子どもワークショップ『ながれやまミュージアム2016』」は、様々な分野の内容をワークショップ形式で気軽に体験してもらうことで、子供たちの興味関心を知識や教養につなげることを目的としている。「芸術・アート・創作アート」、「科学教室」、「文化・歴史」、「料理・趣味」、「音楽・運動」の多様な分野のワークショップが設定され、子供が気軽に参加しやすくなっている。また、音楽の合同発表会を行うことで交流を図ったり、自分の作品がそのまま展示されるだけでなく、展示後にも手を加えることができるようにするなど、継続的な学びの機会となっている。
26	神奈川県	ひらつかしりつつちやこうみんかん 平塚市立土屋公民館	土屋公民館は、昭和43年、旧土沢村にあった出張所に併置されていた土沢公民館から独立して設置され、平成15年に現在の場所に移転された。土屋地区は、平塚市の中でも自然に恵まれた地域であり、地域の団体、小・中学校や地区内の大学とのつながりが強いいため、この特徴を生かした公民館事業として、「小・中学生の一日大学生」や「わくわく生き物観察会」等を開催している。 平成27年度に地区内に新たな名所を作るため、土屋ざる菊愛好会と小学校、公民館が連携し、「土屋ざる菊園整備事業」を実施したところ、市内外から予想を超えた訪問があった。また、多くの地域団体から参加・協力の声が上がったことから、平成28年度以降も公民館を拠点に当事業を継続、発展させ、地域のつながりを強化したことで、地域内コミュニケーションの向上と次世代を担う子供たちを育てる場づくりに成功している。
27	神奈川県	あつぎしりつむつあいみなみこうみんかん 厚木市立睦合南公民館	睦合南公民館は、昭和32年に睦合村役場跡地に設置された睦合公民館が、昭和56年に分割され、現在の地に建設された。公民館を拠点とした住民の地域活動への参加意識が高く、「子ども魚つかみどり大会」や歴史講座、睦合南地区大運動会などを通して、住民間の交流や知識、体力の向上が図られている。 また、現代的課題や住民ニーズを踏まえながら、併せて地域の歴史や伝統を次世代に継承するための取組も行っている。特に「妻田の遺跡発掘よもやま話」や「妻田の昭和の生活」の講座や「妻田薬師・及川山ノ上古墳」の現地見学等を行い、全ての世代の人に、睦合南地区について知ってもらうことで、自分たちの住んでいる地域に愛着を持ち、将来にわたり活気と元気があふれる地区づくりに取り組んでいる。
28	新 潟 県	たがみまちこうみんかん 田上町公民館	人口12,000人の田上町は、若者を中心として東京圏への人口流出が続き、町の児童生徒数も減少しており、固定化した人間関係が課題となっている。このような中、地域の特性を生かした社会、文化、自然等体験教育や豊かな人間関係づくり、地域活動への参加促進を実現するため、公民館が中心となって各種事業に取り組んでいる。 特に、小中学生を対象とした教室・講座内容を充実させている。中でも、「夏休み妙高青少年研修」では、小中学生の体験活動の充実だけでなく、高校生や大学生がスタッフとして主体的に参画できる環境をつくっている。継続して取り組むことで、次代のリーダー育成を目指した事業となっている。 また、役場各課、高校、大学・短大、隣接市等との連携・協働体制を整え、子供から高齢者までを対象とした、質の高い学習機会・内容を充実させている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公 民 館 名	公民館の概要
29	富 山 県	くろべしりつおりたてこうみんかん 黒部市立下立公民館	下立公民館が位置する下立地区は、民俗信仰をはじめ、種々の民俗文化がいきづく一つの文化圏をもっていると識者が評価している。住民が伝統的な民俗行事を大切に継承している生活心情は、現代社会では貴重であり、これを基盤として地域活動が行われている。地域を見直し、新しい発見がないか、公民館活動を通して精力的に各世代へ地域文化を伝えている。また、事業を進める際には、小学校やPTA、青少年育成黒部市民会議下立支部と連携をしながら行っている。 公民館活動を通して地域の絆(きずな)を強めていくとともに、地域の良さを伝承する活動は、地域住民へ大きな影響を与えており、地域になくてはならない公民館となっている。
30	富 山 県	となみしりつせんだんやまこうみんかん 砺波市立梅檀山公民館	梅檀山地区は砺波市内でも最も人口が少なく、高齢化率も約48.6%ととても高い。しかし、公民館活動を見ると、少子化社会とは思えない程の子供たちの参加があり、かつ行事にも毎年工夫が加えられて活発に活動している。 特に、昨年度から試験的にはじめた行事の一本化(複数の行事の同日開催)は、参加する住民の負担軽減を考えつつも歴史のある行事を消滅させないようにしている。このことは活動の一層の盛り上がりや賑わい創出に大きく寄与しており、現代社会に合った新しい公民館活動の一つであると思われる。中山間地にあるという、人口減少や利便性の低さといったハンデを感じさせない、逆にまとまりやつながりの強さが際立つ実践を行っている。
31	石 川 県	つばたまちかりやすこうみんかん 津幡町刈安公民館	公民館のある刈安地区は高齢化率41.42%の地域であり、隣接する刈安小学校は全校生徒20人という小規模校である。若い世代が減少したことで、地域コミュニティの衰退、住民同士の交流の減少、地域の伝統が絶えてしまうことへの危機を感じていた。 そうした中で、俱利伽羅古戦場の史跡が地区内にあるという特性を生かし、「源平の郷」として様々な事業を実施している。地域最大の夏のイベントである寺尾夏祭りでは、源平合戦を再現した騎馬戦を行い、また、源氏方の勝利を祝って打ち鳴らしたといわれる源氏太鼓を子供たちが披露するなど、多数の住民が参加して世代を超えた交流が行われている。
32	石 川 県	すずしりつわかやまこうみんかん 珠洲市立若山公民館	若山地区は高齢化が進んでいる地区ではあるが、小学校が隣接している公民館であるということもあり、子供から高齢者まで幅広い世代が交流できる事業を活発に行っている。 代表的な事業である「若山庭まつり」では、長らく途絶えていた「庭おどり」(田植えが一段落した頃に慰労と豊作を願って踊る)を復活させただけでなく、地域に歌い継がれてきた民謡や踊りを次世代に伝えるために、小学校や公民館において子供たちにも熱心に指導している。こうした事業は、伝統文化の継承というだけではなく住民同士の交流を促進する重要な機会となっている。また、地区外からも多くの参加があり、交流人口の拡大につながっている。
33	福 井 県	さばえしきたなかやまこうみんかん 鯖江市北中山公民館	北中山公民館は、生涯学習を通じた地域活動がとても盛んな公民館である。地域で活動している老人会や婦人会、青年グループ等の各団体を、公民館がコーディネートして結びつける手法を用いて活動を活性化しており、これからの公民館の在り方のモデル的な取組と評価している。特にまちづくり運動は秀逸で、自治の精神を基本とし、「みんなでつくる、みんなの北中山」を合言葉に「美しい北中山」「安全安心の北中山」「健康福祉の北中山」「歴史文化の北中山」の4本柱を掲げて公民館が運動を牽引し、地域住民が何度も公民館を利用できるよう、工夫しながら活動している。公民館とまちづくり委員会と各団体が一体となり地域と密着した公民館活動は、地域の活性化につながる活動である。
34	福 井 県	ふくいしきだこうみんかん 福井市木田公民館	木田公民館は、「ふくいの伝統野菜」に認定されている「木田ちそ」「木田青かぶ」「板垣大根」の栽培を通して、地域コミュニティを育てている。子供から高齢者に至るまで、世代を超えた地域住民同士が種まきから収穫までの体験を通して学習することで、地域食文化への理解と地域に対する愛着心が着実に醸成されている。どの活動も、誰もが利用しやすい学びの場・交流の場として、幅広い世代の地域住民と積極的に連携・協働して事業を運営している。核家族化が進行する中で、郷土学習をはじめとする当館の教育事業は、学校や地域団体で活動するもの同士の“つながり”を強化するとともに、地域の若い担い手の発掘と育成にも結びついており、これからも地域コミュニティの更なる活性化に大いに寄与するものである。
35	長 野 県	いなしたかとおまちこうみんかん 伊那市高遠町公民館	伊那市高遠町公民館は、従来から特定の公民館(建物)を持たず公民館職員は高遠町総合支所教育委員会事務局と共にあり、その利点を生かして各種団体・機関と密接な連携を図り、地域活性化に向けて明確な課題意識を持って活動している。合併後10年が経ち、高遠の歴史・文化の継承・発展と新市への一体感の醸成が課題であるが、蓄積された豊かな高遠の学習資源を積極的に活用した講座や教室を開き全市から参加者が集うようになってきている。 平成21年に開いた子供たちを対象にした旧高遠藩校での「進徳館夏の学校」は参加者が年々増えて、夏の学校の論語の素読は夏の風物詩と語られるようになり、伝統のある「高遠そば・そば打ち講座」からはそば店開業者が輩出され地域を活性化させている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公 民 館 名	公民館の概要
36	長野県	しおじりしよだこうみんかん 塩尻市吉田公民館	吉田公民館は塩尻市北部、松本市境に位置し、人口約9,000人で新旧住民が混在する地区である。住民の健康づくり、親子のふれあい、学びを通じた地域づくりを重点に取り組んでいる。特徴的な活動として、「よしだ学びのカフェ」と称し、地域のタイムリーな題材を講座に取り上げ、事業のマンネリ化、参加者の固定化を防ぐように工夫している取組や、地域の他団体との連携に力を入れ、管内にある田川高校との連携により高校生が小学生に教える取組など、新しい事業展開を行ってきた。最近では、ウェブサイトの充実やフェイスブックの開設等、若い世代の参画に向けての情報発信をはじめ、地域の課題解決につなげる事業に積極的に取り組んでいる。
37	岐阜県	ぐじょうしめいほうちくこうみんかん 郡上市明宝地区公民館	「生涯学習活動を通じた人材育成と住民の連帯意識の向上」を目標に掲げ、公民館を単なる学びの場、集いの場とせず、行政、NPO法人、地域づくり団体、学校等と積極的に協働したネットワーク型社会教育事業を企画・運営している。特に「明宝サマーぼうさいキャンプ」は、地域防災の拠点として公民館の在り方を示すとともに、参加者の防災意識の変化、住民同士のつながり強化をもたらす事業として、高く評価できる。少子高齢化に伴う困難な課題を抱えている地区であるが、公民館活動を通して課題解決に取り組む様子が他の模範となっている。
38	静岡県	ふくろいしりつこうなんこうみんかん 袋井市立高南公民館	袋井市立高南公民館が所在する高南地区は、昭和40～50年に新興住宅地として開発された地域であるが、平成28年度の地区の高齢化率は34%を超え、地区内の児童数は減少傾向にある。 高南公民館では、このような地区の状況を踏まえ、高齢化が進む中でも地域の活力が低下しないように高齢者の防災講座、健康講座、脳トレ、健康体操教室を開き、高齢者の健康増進、要介護前の総合的予防対策等を行うことで、高齢者を強みとした地域へ転換を図っている。また同時にマイナナンバー制度勉強会等の時代にあったタイムリーな講座を実施している。 これらの取組が浸透し、住宅地として開発された比較的新しい地域であるにもかかわらず、地域コミュニティが形成され、公民館が高齢化という弱みを強みに変えていく地域の核としてその役割を担っている。
39	静岡県	ふくろいしりつかさはらこうみんかん 袋井市立笠原公民館	袋井市立笠原公民館が所在する笠原地区は、茶園と田園、農家集落地域であり、人口の減少や高齢化の進展が進んでおり、若い世代の定住を促進するような対策が望まれている。 笠原公民館では、同地区の特産品である緑茶を使い、若い世代からお年寄りまで幅広く楽しめ、交流を図る事業として「ザ・お茶 健康運動教室」が取り組まれている。この取組は、緑茶を急須を使って飲むことで、作法から礼儀、緑茶の効用等を学び、併せて健康運動教室を取り入れることで世代を超えて交流を図るきっかけとなっている。 また、当該事業の交流を機に自主的な事業が展開されるなど広がりをみせており、「ザ・お茶 健康運動教室」に見られるような人づくり、地域づくりを効果的に進めている。
40	静岡県	はままつしちゅうぶきょうどうせんたー 浜松市中部協働センター	浜松市中部協働センターは、生涯学習の拠点施設として、昭和63年、浜松市の中心部に立地するクリエート浜松内に開設され、以来、地域活動団体や大学生等との連携について実績を積み重ねている。また、NPO法人や民間団体とも積極的に連携し、専門性や費用対効果の高い事業も実施している。なかでも、NPO法人が企画する東三河・遠州・南信州地域の広域交流事業「三遠南信文化交流講座」(年8回の連続講座)は、毎回各地域に居住している方を講師として招聘し実施している。講座の運営に当たっては、実施内容の評価と改善を繰り返して常に新しい内容を盛り込み、10年以上継続している講座にもかかわらず、受講者の関心や満足度が高い。持続可能な生涯学習・社会教育の実現を目指し、各種事業の充実に努めている。
41	愛知県	がまごおりしかたはらこうみんかん 蒲郡市形原公民館	形原公民館では、①高齢者は地区の知恵袋。私たちが育ててくれた大事な先輩を大切に。②子供は地域の未来であり、宝物。地元で守り、育てていく。③「(家庭の)和・(地域の)輪・(地域の)話」を大切に街づくりの三つを重点目標に掲げ、文化活動・スポーツ活動を通して、「個人の生きがいづくり」、「明るく住みよい街づくり」を目指して、ふれあい交流の機会を増やすことにより、高齢者から児童・幼児まで、地区の人々の絆(きずな)づくりを図っている。 各種機関・団体と連携しながら、高齢者の「生きがいづくり」を目指した学習の拡充、子供たちの健全育成、家庭教育力向上を目指した「親子教室活動」の拡充、地域住民相互の親睦を深め、連帯感を高めるための「スポーツ交歓会」、「町民体育祭」、「町民文化祭」等の親睦事業の拡充に取り組んでいる。
42	愛知県	おわりあさひしずいほうこうみんかん 尾張旭市瑞鳳公民館	瑞鳳公民館では、利用団体の発表会に合わせ、「我が街芸術サロン」と銘打った作品展示会を開催している。小中学生や地元の有志の作品発表等、地域の幅広い方々とともに会を盛り上げている。当日は、来館者同士の親睦が図れるようにティーサロンを開設し、子供たち向けにはプラバンづくりコーナーを設けるなど、毎年工夫を凝らしている。 地区では市民活動も盛んで、「我が街芸術サロン」の日には、隣接する小学校でコミュニティ運動会が開催されることから、公民館がくつろぎの場にもなっている。また、初夏の田植え、秋の稲刈りを地域で行う「どろんこ広場」では、事業を締めくくるカレーライスや秋刀魚ご飯の炊き出しが、公民館を中心に行われている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公 民 館 名	公民館の概要
43	三重県	いせししょうがいがくしゅうせんたー 伊勢市生涯学習センター	伊勢市生涯学習センターは平成9年4月に開館し、今年度で20周年を迎えた。「いせトピア」の愛称で親しまれ、伊勢市における生涯学習の拠点として、多くの市民に学びの場を提供している。平成18年度に指定管理者制度を導入してからは、直営時代に実施してきた事業に加え、市内各機関とのネットワークづくりを推進して市民のニーズにあった学びの場の構築に努めている。 生涯学習センターが実施する各種主催行事は、市民の学びに対するニーズに応えるとともに、多くのボランティアや関係団体の協力を得ることで地域の子供たちを見守り育てる場にもなっており、今後も更なる充実が期待できる。
44	滋賀県	おおつしりつせたひがしこうみんかん 大津市立瀬田東公民館	当公民館が所在する瀬田東学区は、南北に弓のように長い大津市の最南東部に位置し、近くに名神高速道路が通り、月輪、南大萱等の旧村と新興住宅が混在する地域である。 瀬田東公民館では、公民館職員のコーディネートにより、利用者団体で構成する文化振興会が中心となり定期的な学習会を自主的に開催し、公民館と連携しながら生活課題・地域課題の解決に向けて、地域を挙げたまちづくりに取り組んでいる。その研修成果を生かした事業として、「夏休み子ども体験教室」や「長沢川探索」等があり、いずれも地域の子供を中心とする世代間交流や地域の環境(琵琶湖)、暮らしを意識する取組であり、他の公民館の模範となっている。また、地域にキャンパスを有する龍谷大学との連携による「スーパーサイエンス講座」等地域ぐるみでまちづくりを担う人材の活用、育成に力を注いでいる。
45	京都府	うじしおぐらこうみんかん 宇治市小倉公民館	宇治市小倉公民館は、子供から高齢者まで様々な世代を対象とした事業を実施し、地域に根ざした学習と交流の場となっている。 親子の体験活動を中心とした「子どもの居場所づくり支援事業」は、公民館サークル連絡協議会が講師として参画するなど、公民館での学びを社会に還元するとともに、地域の子供と交流する場となっている。また、「小倉蓮の実教室」では、高齢者を対象とした講座を実施し、地域の高齢者が教養を身につけ、自主的に学び合う場になっている。老人会や茶業青年団等とも連携した事業を展開し、様々な年代の大人が子供に関わりながら、「地域の子どもたちを地域で育てる」という視点で活動の充実を図っている。
46	京都府	よさのちょうりつかやちいきこうみんかん 与謝野町立加悦地域公民館	与謝野町立加悦地域公民館は、町内にある23の公民館の中の中核施設の一つとして、地域住民のニーズを踏まえた公民館活動を展開している。地域の人的・物的な資源を生かし、学校・行政・関係団体と連携を図りながら事業を組み立て、実施している。 特に、平成27年度から、夏・冬休み等の長期休業中に、小学生児童の居場所となる「学習・体験教室」を終日開催している。内容としては、学習と体験・製作活動を組み合わせ、午前中は宿題を中心とした自主学習、午後は体験・製作活動としている。午後からの取組の例としては、町の防災安全課や消防署と連携した防災体験学習、地域の方々を講師に招いた夏休み作品づくり等を行っている。また、このような取組を他の公民館と連動させるなど、町内の公民館活動の推進にも大きな役割を果たしている。
47	大阪府	かわちながのしりつあまみこうみんかん 河内長野市立天見公民館	河内長野市立天見公民館は、里山の自然の中に位置し、主に近隣地域の住民と、市南部に開発された住宅団地の住民が利用している。 高齢者の公民館利用者が多くなっている中、子供たちの参加者を増やすため、豊かな自然を生かし、自然体験活動を中心とした、「天見子ども自然とあそびの教室」の事業に取り組んでいる。取組に参加した子供たちは、自然の中で学び遊ぶことで、仲間意識を高め、生きる力を育み、自然環境への関心を高めている。 また、子供たちの活動を支えるため、NPO法人が中心となり、周辺の自治会、地区福祉委員会、民生児童委員、地元企業、市教育委員会及び天見公民館が実行委員会を組織して企画し、教室実施時は、さらに大学生や社会人ボランティアの協力も得て運営をしており、多世代かつ幅広い人達のつながりを大切にしたい取組になっている。
48	大阪府	おおさかしりつそうごうしょうがいがくしゅうせんたー 大阪市立総合生涯学習センター	大阪市立総合生涯学習センターはJR北新地駅直結の大阪駅前第2ビル内に、平成14年11月に開設された生涯学習施設である。市民が気軽に立ち寄り、学び、集う場であるとともに、大阪市の生涯学習施策推進の拠点施設として、行政課題や地域課題の解決に向けて、多様な学びの機会を提供している。 市民一人一人が身近な問題に気づき、考え、学んだことを生かし、共に活動するという「学びと行動が循環する生涯学習社会づくり」を目標に、人材育成や活動・交流機会の創出等に注力した取組を行っている。とりわけ市民ボランティア、生涯学習推進員、生涯学習インストラクター、識字・日本語ボランティア等の人材育成事業を推進している。
49	兵庫県	かさいしなんぶこうみんかん 加西市南部公民館	加西市には四つの公民館があり、南部公民館は市の南部地域を担当している。地域住民の利用が多く、農業が盛んな地域でもあることから、「健康」や「退職後の男性の居場所づくり」等、時事課題と「食」をからめた講座を多く開催している。 また、地域の南部に所在する「あびき湿原」の環境保全課題に取り組むため、地域の保存会、市役所環境課と南部公民館が連携し、平成27年度から「あびき湿原レンジャー養成講座」を開催している。プログラムも、大学教授による環境学習から現地見学、現地保全作業体験と多岐にわたり、講座参加者を保全活動に誘導する人材育成の構成になっている。 このように、公民館が地域と連携し地域的課題の解決に向け大きく寄与している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公 民 館 名	公民館の概要
50	奈良県	ならししょうがいがくしゅうせんたー 奈良市生涯学習センター	公益財団法人奈良市生涯学習財団が指定管理者として管理・運営を行っている本施設は、パソコン学習室、アトリエ、託児室等、専門的な部屋を備え、施設の特徴を生かした数々の事業を展開している。作品展示等のギャラリー、コンサートの開催が可能なサロンも有し、年間45,000人余りの方が学習活動を行っている。「パソコン学習サポーター養成講座及び学習会」を平成17年度から、「託児ボランティアスタッフ学習会」を平成20年度から実施し、当施設だけでなく、地区公民館においても活躍できる人材育成に力を入れている。パソコン学習サポーター学習会は自身のスキルアップだけではなく、仲間づくりや生きがいづくりの場ともなっている。託児ボランティアスタッフも学習会を通して、最新の子育て事情や様々な対応を学び、多くの講座に託児を設けることが可能となり、子育て中の親の学習機会の拡大につながっている。
51	鳥取県	とっとりしりつひおきちくこうみんかん 鳥取市立日置地区公民館	日置地区の地場産業である和紙の生産や農林業が盛んであることを生かし、公民館で子供たちを地域みんなで育てる「子どもと大人のふれあい(わしの子)育成事業」を展開しており、各集落の自治会、老人クラブ、ボランティア等と連携した、地域全体で子供たちを育成するための様々な事業を展開している。主な事業内容としては、年間を通した「わしの子楽団」や習字教室、「子ども教室」「子ども川柳教室」、芋掘り等)、季節の事業として、夏の科学実験室や秋の世代間交流ランプシェードづくり等の活動があり、子供が地域の大人に学ぶシステムを構築している。この取組の成果として、地区住民に子供たちを皆で見守り育てていこうという機運が醸成されつつあること、子供たちが公民館活動で学んだ成果を各集落や敬老会等で披露し住民から喜ばれることで、子供たちが地域を好きになるきっかけや関わった大人の生きがいにつながっている。
52	鳥取県	いわみちようりつうらどめちくこうみんかん 岩美町立浦富地区公民館	地域の花いっぱい運動に取り組み、平成10年に鳥取県景観賞(県知事表彰)を受賞したことをきっかけに、地域内を流れる吉田川管理道(コスモスロード)の美化活動を全地区民を対象とする「コスモスロード事業」として始めた。主な活動としては、コスモスロードを4地区自治会ごとに区割りし、耕うん・施肥の実施をしている。また、岩美北小学校の児童や住民による種まきや草取り、子供会による看板づくり、各自治会や婦人会による案山子や休憩用ベンチづくり等、様々な団体と連携しながら活動している。平成12年から開始した本事業も17年目となり、成果として、浦富地区民が一体となって取り組めたこと、地元小学校と連携したことにより世代間交流が図られていること、各自治会の取組が活発になったこと等、地区の活性化に大いに寄与している。最近では、テレビや新聞等にも度々取り上げられ、地区民が誇りを感じる活動となっている。
53	島根県	まつえししんじこうみんかん 松江市宍道公民館	今まで公民館活動に参加していなかった地域住民に対して、宍道コマーシャル投稿コンテストや、地域総合戦略プレゼン大会といった手法を使うことで、住民の地域再発見やふるさとへの愛情を育むとともに、地域住民が地域や地域課題について主体的に考える機会を与え、公民館活動や地域づくりに主体的に参加する個人や団体を増やしてきており、今後、行政と一緒に進めていく地域づくりの拠点として期待が高まっている。 中学生を対象にしたリーダー研修会は、これから地域を担う次世代の育成を、公民館が中心となり地域が総がかりで行う活動になっている。 市役所支所と子育て支援センターとの複合施設となっていることを生かし、行政の機関とも連携・協働しながら様々な活動を行っている。
54	島根県	おおなんちょうふせこうみんかん 邑南町布施公民館	過疎化、少子高齢化といった課題を抱える地域であるが、地域の課題をしっかりと捉えたうえで、年間を通して公民館が意図的に住民の学びの場を提供することで、その学びから自分たちで主体的に課題を解決しようとする住民が育っている。 また、学校以外の時間で地域の大人が先生となり、大人が持っている知識や技術を、子供たちに体験活動として提供する、「地域学校」という取組を公民館が中心となって続けており、地域が総がかりで地域の子供たちを育てていこうとする気運を高めているとともに、様々なことに対しても地域の誰もが主体者となって向かっていく地域力の高まりがみられる。 多世代の住民が参加しやすい交流活動を年間を通じて実施することによって、地域の連帯感を高めることに貢献している。
55	岡山県	つやましいんのしょうこうみんかん 津山市院庄公民館	地域ぐるみで子供たちを支援する体制づくりを中心となって行っており、子供たちの心や生活の安定が図られ、地域の子供たちの健全育成に大いに貢献している。 「幼稚園昔遊び交流会」「小学生茶華道教室」「中学生と話す会」等、学校や家庭、地域が連携した多様な事業を公民館がコーディネートし、子供を支援する事業の充実や支援体制の強化を図っている。 さらに、地域ボランティアが小学生に学習支援やものづくり体験等を行う「夏休みわくわく教室」を実施し、地域を挙げて子供たちを育てる雰囲気づくりを進めるとともに、子供たちと地域住民が交流を深め、世代間をつなぐ場を創出する役割も果たしている。
56	岡山県	あかいわしりつちゅうおうこうみんかん 赤磐市立中央公民館	地域住民がつながり合う拠点として、世代間の交流や若者と地域がつながる様々な事業を実施し、持続的な地域づくりや人づくりに積極的に取り組んでおり、この取組は市内の他の公民館に普及している。 中学生ボランティアが、「公民館まつり」等を企画・運営・事業化させる事業に取り組み、若者が地域で活躍できる場を創出し、住民と連携して地域を支える若者の育成を推進している。 また、孫育世代も参加している「子育て講座」や、大学生が小学生の学習支援を行う「宿題応援隊」等、世代を超えた相互交流や学習の機会を提供し、学びを通じて幅広い年齢層が交流し、絆を深めており、地域のつながりや地域力の向上に大きく貢献している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公 民 館 名	公民館の概要
57	広島県	ふちゅうしくりぶこうみんかん 府中市栗生公民館	府中市栗生公民館は、隣接する栗生小学校(コミュニティ・スクール)と緊密に連携した事業を展開するほか、読書ボランティアによる読み聞かせや高齢者と園児との交流等、保育所との連携にも力を入れている。公民館が蓄積する地域のボランティア人材を学校とつないだり、学校の様子を地域住民に知らせるために児童が定期的に情報更新する掲示板を設置したりするなど、本公民館は地域と学校や保育所をつなぎ、地域と子供が共に育つ地域の拠点施設としての役割を果たしている。「親と子の地域で過ごすサマーバケーション」は、高齢化が進む地域を活性化させるため、地域の子供たちの学習や活動の成果発表の場として、多くの関係者が一体となって作りあげる事業である。子供やその保護者をはじめ、地域の高齢者等、幅広い年齢層が集い交流する場となるとともに、進学等で地元を離れた若者にも参加を呼びかけ、ふるさとでの豊かな人間関係や絆(きずな)を深め合う機会となっている。
58	広島県	かいたこうみんかん 海田公民館	安芸郡海田町に所在する海田公民館は、社会教育法施行前の昭和10年に設置された海田市公会堂に始まり、昭和24年の同法の施行以降は公民館として活動している。地域の多様な主体のネットワークの要となっており、人づくり・地域づくりに積極的に取り組んでおり、年少から高校生までを対象とした青少年健全育成講座や成人を対象とした講座が、地域住民により主体的に運営されている。「未来のまちのおせっかいさん養成講座」は、次世代の地域リーダーの養成を趣旨として、子育て当事者世代を対象にして実施する人材育成事業である。「おせっかいさん」の活動は、子育ての支援にとどまらず、防災減災への対応など、様々な地域課題解決への取組に発展しており、「自らの地域は自らの力で変えていく」という住民の主体的な学びや活動を通じて、地域・家庭の教育力が向上し、地域の活性化につながっている。
59	広島県	ひがしひろしましわしょうがいぐくしゅうせんだー 東広島市志和生涯学習センター	東広島市志和生涯学習センターは、志和公民館として昭和55年に開館、平成23年に生涯学習センターに名称等を変更し現在に至る。志和周辺地域における生涯学習の中核拠点として、学びを通して人が集い活気あふれる施設運営に取り組むなかで地域の連帯感が醸成されている。「地域リーダー“たまご育て”事業」は、少子・高齢化を背景とした地域のつながりや支え合いの希薄化等の地域課題解決を図るため、子供から大人まで気軽に「集い」「学び」「結ぶ」きっかけをつくり、多様な学習活動を通じて各世代が交流して学び合う場を創造し、地域や家庭の教育力向上を総合的に推進する事業である。地域の様々な主体と連携した課題解決型の学習を通じて、地域づくりに主体的に参画しようとする次世代の地域人材(地域リーダーのたまご)の育成が図られている。
60	山口県	ほうふしかほこうみんかん 防府市華浦公民館	キャリア教育を積極的に推進しており、幅広い年齢層を対象に体験活動を実施している。社会の中で自分らしい生き方を実現していけるよう「大人のキャリアアップ教室」を企画し、地域住民のキャリア発達を図っている。また、「子どものキャリアアップ推進事業」では、講師を学校に派遣するなどして、出前講座や体験活動を実施している。 職員が地域協育ネットのコーディネーター、学校運営協議会の委員として活動したり、小学校との連携事業を毎年開催したりするなど、学校との交流も活発である。また、中学生、高校生のボランティアを積極的に活用するなど、公民館が、地域と学校をつなぐ核として、十分な役割を果たしている。
61	山口県	たぶせちようまりふこうみんかん 田布施町麻里府公民館	高齢化が進む地域の活性化のために多様なニーズに応じた事業を展開し、住民自ら運営に関わるなど、一丸となって取り組んでいる。「伝統文化の継承」「次世代を担う子どもの育成」「ふるさと麻里府の環境保全・環境美化」等、地域の課題に応じた事業を住民とともに積極的に実施している。嵯峨音頭保存事業や麻里府文化展では、参加者自らが事業の企画・準備段階から主体的に関わることで住民のボランティア活動の促進、学習意欲や地域の文化の高揚にもつながった。 また、海岸一斉清掃を毎年開催することで、環境保全・環境美化の意識の高まりはもとより、様々な活動への主体的な活動を促すとともに、地域住民の連帯感、ふるさとを愛する心の醸成に役立っている。自治会、婦人会等地域の団体との連携・協働した事業も積極的に展開している。
62	山口県	やまぐちしさやまちいきこうりゅうせんだー 山口市佐山地域交流センター	次世代を担う人材育成のために地域活性化事業の充実に努め、体験活動を通して住民と児童とのつながりを深めている。「佐山里山たんけん隊」事業では、ボランティア団体と連携し、ハイキング、貝掘り等多様な自然体験講座を開催している。また、「さやまっ子のびーるマーケット」事業では、青少年健全育成連絡協議会や地域づくり協議会と連携して職業体験学習を行い、社会や職業で必要な資質や能力を育成するとともに、子供が主体的に取り組むよい学びの場になっている。 また、交流センター利用団体と連携し、小学生を対象とした「夏休み子ども講座」を開催し、団体が日頃取り組んでいる学習を地域づくりや人づくりに生かす仕組みを構築している。
63	徳島県	あなんしりつつばきこうみんかん 阿南市立椿公民館	阿南市立椿公民館は、地域における社会教育の拠点として、住民、保育所、小学校、中学校、各種団体と協力しながら、世代間交流を行い、地域の活性化に取り組んでいる。 特に、子供の数の減少に伴い衰退していた恒例行事であるクリスマス会を、子供たちに生まれ育った地域での学習機会をより多く提供したいという地元の強い思いを受け、広報や各種団体との連携等の工夫をつうじて復興させた。そして、子供たちに異世代との交流や故郷の良さを体感する機会を提供している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公 民 館 名	公民館の概要
64	徳 島 県	なるとしばんどうこうみんかん 鳴門市板東公民館	鳴門市板東公民館のある地域には、四国八十八か所第1番札所やドイツ兵捕虜がアジアで初めてベートーヴェンの交響曲第9番を全曲演奏した板東俘虜収容所等があり、お接待の心を基礎に歴史と文化の薫り高い地域である。 このような地の利を生かし、公民館では「地域に根ざした公民館運営事業」として、地域の歴史や文化を様々な視点から学ぶ「ばんどう塾」や「公民館歴史講座」の開設、子供と地域の人たちとの交流を通して「つながり」を深める「遊びと学びの広場」公民館カフェを開催している。これらの事業を通して、遍路文化、門前文化等の普及・啓発により地域づくりに取り組んでいる。
65	香 川 県	みとよしとよなかちようこうみんかん 三豊市豊中町公民館	地域住民が、集い・学び・つながる場として、住民への幅広い学習機会の提供、ふれあいの場としての公民館活動を行っており、各講座において参加者と反省会を開催し、問題点等を整理して講座の内容の充実に努めている。開催する講座は3年を目途に自主活動へとつなげ、地域のニーズに応えるために常に新しい講座を開催するよう努めている。 また、ボランティア講座「グーグースマイル」は、少子高齢化が急速に進行する中、市内のデイケア施設と連携し、利用している方々との交流の場を持ち、個人の尊厳の維持や社会とのつながりを考慮し利用者にも学びの場となるよう努めている。
66	愛 媛 県	やわたはましりつおおしまちくこうみんかん 八幡浜市立大島地区公民館	八幡浜市立大島地区公民館は、八幡浜市沖合の、高齢化が進む人口245人の離島にあり、地域コミュニティ、文化交流の拠点として、島民にとってはなくてはならない存在となっている。「地域住民のニーズに応じた公民館活動」を目標に、盆踊り大会や地区文化祭、島内一斉消毒など、地域が一体となった活動が行われ、明るく元気な地域づくりに取り組んでいる。 地区文化祭では、地域住民の趣味の作品展示やサークル活動の発表の場、バザーや地元の特産品販売、餅まき等、参加者が一日楽しめる企画を行い、島内はもちろん島外の方々も参加し、人々の交流の場としての役割の一端を担う事業となっている。
67	愛 媛 県	にいほましりつちやあときねんこうみんかん 新居浜市立口屋跡記念公民館	新居浜市立口屋跡記念公民館は、校区地域教育力向上プロジェクト推進事業として、「学ぶ・活かす・創る」という三つの視点から、多種多様な学習講座、三世代交流活動、先進地への研修、病院から公民館へのサロン化を目指す取組等、それぞれ各種の活動が展開されているほか、学校や家庭とも連携した学校支援活動も実施されている。 口屋あかがねプロジェクト事業では、公民館が建つ場所に、昔、別子銅山の重要拠点施設である口屋があったという歴史や文化等を、後世に語り継いでいくための取組として、子供たちに地元への愛着心を育てるとともに、地域の継続、発展を目的に実施している。
68	福 岡 県	おかがきまちちゅうおうこうみんかん 岡垣町中央公民館	生涯学習によるまちづくりという視点に立った事業を展開し、学習の成果を生かして、ボランティア活動や地域コミュニティづくりの推進に積極的に地域住民が参画していくことを目指し、公民館講座「若潮学級」や受講生のステップアップ専門コース「成人講座ゆうま」等を開設して、地域住民の学びの場を提供している。これらの講座は地域活動のリーダーとなる人材育成を目指し、講座の準備や進行を参加者の自主運営で行うなど、主体的な学びの場となるよう工夫されている。 また、学校支援ボランティアや夏休みの子供の講座のスタッフ、町民文化祭実行委員会に参画できる機会をつくるなど、学習成果を生かしたり、地域の行事運営に積極的に関わったりできる仕組みづくりを工夫している。
69	福 岡 県	おおむたしよしのちくこうみんかん 大牟田市吉野地区公民館	地域のコミュニティの再生とまちづくりに関わる人材の発掘・育成という課題解決や管内小学校のESDの取組が推進されるためには地域の協力が不可欠であった。そこで、公民館が中心となり、学校と地域が一体となって地域づくりを進めることができるよう、桜を介して「～さくらで繋ぐ～吉野小と地域の絆プロジェクト」を立ち上げ、校区内の多世代や多様な団体が協働して本プロジェクトに関わることができるよう学びや実践の場が構成されている。 また、事業開始初年度は専門のコーディネーターの指導・助言のもと、講座を実施し、次年度からは公民館主事がコーディネートしながら参加者自ら企画・立案・実践できるよう、意図的・計画的なプログラムが組まれた結果、平成29年度には校区内に任意団体が発足し、住民主導の事業実施へと発展している。
70	長 崎 県	まつうらしりつかみしきこうみんかん 松浦市立上志佐公民館	当該地域に存在しなかった公民館活動を創出し、平成21年開館以降、住民と公民館職員との信頼関係を築きながら、高齢化と少子化が著しい当該地域の課題解決に向けて、家庭教育支援等各種講座等を積極的に実施している。また、子供を核として、保護者、地域の大人を各種講座に取り込み、地域の大人同士のつながりをつくり、地域活性化につなげている。そして、学習ニーズを捉えて講座を組み立て、成人講座受講者が子供講座の講師をするなど、講座受講者の学んだ成果を生かす場を提供し、学んだことを生かせる喜びや地域の方との交流を通した学びができています。さらに、公民館区の山や川など自然に恵まれた環境を生かし、川釣り体験活動等の自然体験活動の充実に積極的に取り組んでいる。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公 民 館 名	公民館の概要
71	長 崎 県	しまばらしりつはくさんこうみんかん 島原市立白山公民館	公民館が、青少年健全育成協議会をはじめ、町内会(自治会)、老人会、婦人会、青年団、PTA、学校と連携を図りながら事業を展開し、青少年の健全育成に力を注いでいる。また、郷土の伝統行事である「精霊船づくり」及び「精霊流し」を主催講座である家庭教育学級に位置付け、地域の高齢者から親世代へ、さらには、子供たちへの郷土の伝統継承に重要な役割を果たしている。町内会(自治会)や老人会の指導で、主に小中学生の男子と、昔ながらの手作りで組み上げた精霊船は、精霊流し当日まで公民館で展示され、地域に披露されている。年末には、子供たちに、しめ縄・ミニ門松づくりも体験させ、伝統の継承と地域を担う後継者の人材育成に積極的に取り組んでいる。
72	宮 崎 県	あやちようこうみんかん 綾町公民館	本公民館は、公民館の拠点のみならず、町の生涯学習・社会教育の拠点として位置づけられ、生涯学習推進会議において、公民館の運営・事業や生涯学習行事等の実績や計画について報告・協議し、評価を行っている。また、よりよい公民館講座を開設するために毎年、開講状況等を踏まえ、翌年度の講座の選定を行い、綾ならではの地域の自然文化について学ぶ講座も開講している。さらに、社会教育団体の支援を行うとともに、生涯学習発表の場として「総合文化祭」、「生涯学習発表会」を開催したり、分館の自治公民館が実施する「手づくり文化祭」の支援したりするなど、町内の生涯学習を推進している。そのほか、町づくり、地域づくりをテーマとした「生涯学習推進 綾町公民館大会・青少年健全育成町民大会」を開催し、住民の自治意識を高めるなど、町づくりの拠点としての役割も果たしている。
73	鹿児島県	かごしましよのこうみんかん 鹿児島市吉野公民館	吉野公民館は、毎年約10万人の市民の利用があり、学習や集いの場として地域の中核をなしている。平成28年にはリニューアルし、エレベーターや多目的トイレ等が新設されて、さらに利用しやすくなり、利用者数を伸ばしているところである。 また、地域内には「旧集成館」「寺山炭窯跡」「関吉の疎水溝」をはじめとする世界文化遺産等の歴史・文化や自然等の教育資源が豊富であることから、学習のニーズも高く、「吉野歴史を訪ねて」や「ファミリー農園」等特色ある講座も開設されている。 さらに、少子高齢化や子育て・人権問題等の現代的・地域的課題解決に向けた学習会や、校区公民館や吉野兵六会、吉野大おやじ連合等と連携し、青少年健全育成や地域づくりを推進し、吉野地域のみならず、鹿児島市の社会教育の充実や生涯学習の振興に大きく貢献している。
74	鹿児島県	よろんちようちゅうおうこうみんかん 与論町中央公民館	与論町中央公民館は、平成25年度に指定管理移行後、利用者の実態に即して、夜間の開館時間を延長したり、職員の配置を工夫したりして、利用者の利便性を向上させている。また、各種事業においては、町内の関係機関と連携を図りながら推進している。 例えば、優れた技術を有する公民館講座の講師を中学校の郷土教育(三線、ゆんぬ太鼓)の講師として派遣している。また、旧美術室を子育て支援室として開放し、いつでも、誰でも気軽に相談できる場を提供している。この支援室には、町民福祉課の職員が常駐し、相談がない場合でも子育て世代のコミュニケーションの場として活用されている。さらに、町おこし・地域の活性化を目指して、起業希望者の準備期間に定額で部屋を利用してもらい、商工観光課と共に支援している。
75	鹿児島県	ひおきたかやまちこうみんかん 日置市高山地区公民館	高山地区は、鹿児島県日置市最北部の山間部に位置し、高齢化率67%を超える地域である。住居の点在化が進み、一人暮らし世帯も増加傾向にある中、地域における自治活動の維持存続が大きなテーマとなっている。 同地区公民館では、「高齢者が高齢者を支える」ことをテーマに、生涯学習による生きがいづくりをはじめ、見守り活動や都市住民との交流等、課題解決に取り組むとともに、日置市やNPO法人与自然連携・協働し、持続性のある地域の仕組みづくりを積極的に展開している。 平成22年度には地区公民館を構成していた六つの自治会組織を統合し、また、平成25年度には同地区民全員が加入するNPO法人を設立。地区、自治会、NPO法人の連動による事業の展開を図るなど、過疎化が進む自治公民館のモデルとも言える活動を展開している。
76	沖 縄 県	なはしわかさこうみんかん 那覇市若狭公民館	公民館運営への助言や事業の連携・協力を目的に、周辺自治会長・役員、近隣の学校長・PTA会長、図書館・児童館等の施設長による外部委員会を、平成17年に独自設置。平成19年、同委員会をNPO法人化し、市の社会教育委員会議だけでなく、同法人理事会の意見等を運営に反映させている。また、公民館講座や事業について、PDCAサイクルをより能動的に活動内容へ機能させるため、「企画づくりのじゃばら手帳」を開発し、職員研修を行っている。さらに、生活圏内に公民館のない那覇市曙地区において、機能面に着目した移動公民館「パーラー公民館」を開き、その中で「あけぼののうた☆おひろめ会」、「アルバム持ち寄りお茶会」、「移動図書館・読み聞かせ」等、幅広い年齢層の参加・活動が展開されているほか、学校との連携にも寄与している。